

福祉灯油今年も実施

県議会定例会開会

12月2日、県議会が開会し、

24議案が上程されました。その中の一般会計補正予算は、総額44億1600万円となっており、主には公共事業などの追加ですが、緊急的課題などへの対応として、低所得世帯などへ灯油購入費助成（経済的負担の軽減を図るための市町村事業への支援）1億2500万円、被災者への本県独自の住宅支援（避難者向け県職員公舎の提供及び県内引越しへの助成）2400万円が盛り込まれています。

は、住民税非課税の高齢者、障がい者、ひとり親世帯等を対象としており、上限5000円の1/2助成で4年連続実施となります。は震災、原発避難者で来年3月に住宅支援が打ち切りになる方に対し、低所得者支援として県職員住宅を修繕して提供する費用や県内引越しをする場合の助成費です。

また、知事提案のほかに議員発議で、「山形県誰もががんと闘える社会の実現に向けた条例」が提出されています。また、知事提案のほかに議員発議で、「山形県誰もががんと闘える社会の実現に向けた条例」が提出されています。



新年度予算高増減率

2日当日は、あわせて2017年度当初予算に向けての各部局の要求概要と新たな「山形県行政改革推進プラン」の骨子が示されました。

部局要求の中には、要望の強い放課後児童クラブの利用料軽減の拡充、中小企業支援特に規模事業者を対象とした助成制度創設、河川流下能力向上のための堆積土や支障木対策なども挙げられています。今後査定を経て2月定例会に新年度予算案として提出される見込みです。

11月19日、戦争法廃止を求める山形県民の会（労組、市民団体、政党など50を超える団体で構成）主催の講演会に参加しました。高木紘一共同代表が主催者挨拶に立ち、民進党、社民

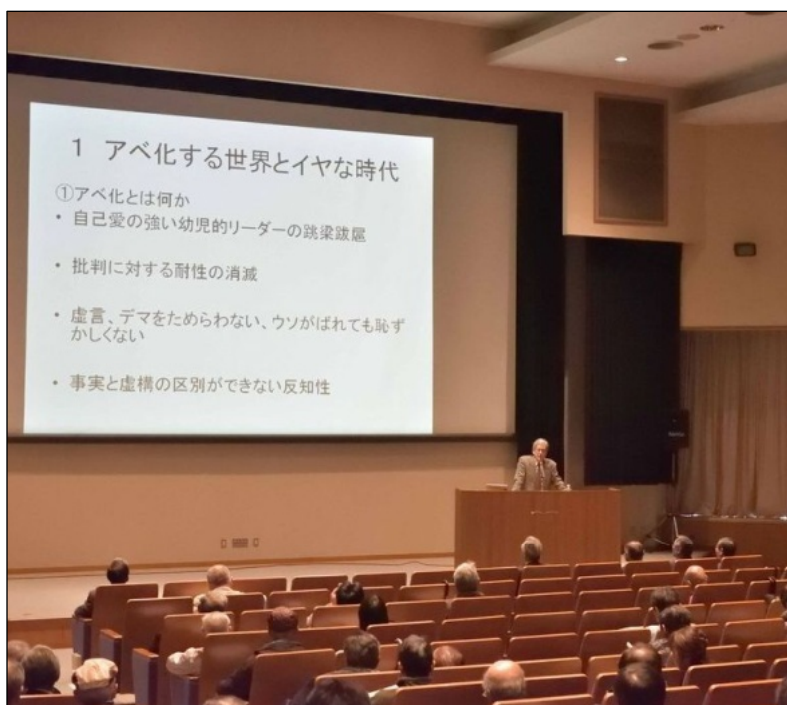
憲法講演会に参加

11月19日、戦争法廃止を求める山形県民の会（労組、市民団体、政党など50を超える団体で構成）主催の講演会に参加しました。高木紘一共同代表が主催者挨拶に立ち、民進党、社民

2016年12月11日 -24号

発行 日本共産党県議会議員 渡辺 ゆり子

<連絡先> 日本共産党県議団執務室 電話 023-630-3241(受付) 自宅：山形市青田2-10-5 電話 023-642-2365



安倍政権の暴走政治について講演する山口二郎氏

党、新社会党の代表とともに日本共産党山形県委員会本間和也委員長があいさつを行いました。また、県弁護士会代表も連帯の言葉を述べました。

講師の法政大学法学部教授山口二郎氏は、「安倍政権は暴走政治を進めているが、市民と野党が共同して闘えば、安倍政権を倒し憲法を守ることは可能だ」と述べ、野党統一を実現させた市民運動の広がりと課題について展望を示し、参加者を激励しました。

日本共産党県議会議員 井上たけし

ゆり子の視点 自治体を動かす避難者の声

山形市内で開催された「福島避難者の声」に参加した。福島避難者の声の選別をする場合、自分も適切な支援を求めたい。避難者と呼ばれるのは、重たい現実です。これらが山形市で実現する。想像力を発揮し、苦しい選択で迫られ、援けに頼りながら始めて、避難者と呼ばれる。被災者、避難者、特に行行政や議員に求められている。現在の日本だと思いませんか。ういう立場になってもおかしくないのが、現在の日本だと思いませんか。



野党と市民の共同で安倍政権の打倒をと訴える井上参院議員

松尾正夫氏が来賓のあいさつを行いました。井上参院議員は、「野党と市民の共同で新潟県知事選勝利など新しい政治を切り開いている。この力で安倍政権を倒し野党連合政権を実現しよう」と訴え、「ともに歴史を前に進める仕事を一緒に実現しよう」と日本共産党への入会を呼びかけました。参加者からは、「わかりやすい話だった」、「野党共闘を進めて

ほしい」、「私もがんばりたい」など感想が寄せられました。当日は、米沢市でも同様の講演会が開催されました。

12月12日(月)午前11時頃から関根県議が予算特別委員会の質問に立ちます。